

# 第3回世界遺産学習全国サミット in なら

日本/ユネスコ  
パートナーシップ事業

【概要版】

平成 25 年 1 月 27 日（日）に、全国規模の世界遺産学習の研究大会として「第3回世界遺産学習全国サミット in なら」を開催しました。世界遺産学習は、世界遺産や身近にある文化遺産などを通して地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養います。

今回の全国サミットでの成果を今後の取組に生かしていただきたく、その概要をお知らせします。

平成 25 年 2 月 奈良市教育委員会

## ◆日程

9:00	9:20	11:35	12:35				16:00
受付	分科会	移動 〔食食休憩〕	開会行事 世界遺産学習 リレートーク	報告 プログラム	休憩	子どもによる 世界遺産学習 発表会	閉会行事
奈良市教育センター			なら100年会館（大ホール）				



## 世界遺産学習リレートーク ～次の世代を担う子どもたちへ～ 「文化財を受け継ぎ、未来へつなぐということ」

文化財の修理・修復に携わる3名の方々からお話を聞くと共に、奈良市教育委員会から世界遺産学習で大切にしたいことを提案しました。コーディネーターは、奈良国立博物館の西山厚学芸部長にお願いしました。

### 【奈良県教育委員会文化財保存事務所 工事主任 中村 伸夫 氏】



薬師寺東塔はこれまでに何度も修理されたが、今回は解体修理といって、大がかりなものである。奈良時代の瓦が残っていることに驚かされたが、修理の際にはできるだけ使える部材は再使用するようにしている。今日まで東塔が残ってきたのは、美しいものを残していこう、伝えていこうという人々の努力があったからだ。似た構造で造られたスカイツリーは1300年後には残っていないだろうが、木造の東塔は新たに命を吹き込み、残すことができる。私の仕事は、今まで残されたものを次の世代の人に引き継ぐことだと考えている。

### 【財団法人美術院 所長 藤本 青一 氏】



私たちは、仏像の修復を中心として、神輿や厨子などの修復にもあたっている。明治31年に、岡倉天心先生らが創設した日本美術院が始まりである。文化財修理の基本的な考え方は、今まで伝えられてきたお姿をその現状のまま次の世代の方々へ安全なかたちで伝えようとするものである。1300年たったものでも、鮮やかに残っているものもある。私たちは、それらの損傷が進まないようにして、次の世代の方々にも美しい姿を見てもらいたいという思いで修理している。

### 【株式会社文化財保存 代表取締役 山本 記子 氏】



絵や書は、博物館や美術館に展示されているだけではなく、元々は、家の床の間、茶室、お寺など、さまざまな場所にあり、それぞれ役割があった。これらを修理する際に大切なことは、何度も直接確認することだ。科学的な調査結果と人の目で見たことを互いに照らし合わせて修理の方針を決めていく。修理が必要なのは、文化財のもつ情報を、何一つ欠けることなく未来へ伝えていくためである。私の話を聞いて、皆様が周りにあるものを未来にどう残していくのか、どう活かしていくのか考えてくだされば嬉しく思う。

### 【奈良市教育委員会学校教育課 課長 北谷 雅人 氏】



世界遺産学習のキーワードとなるのが「深く知る」ということだ。ご講演いただいた方々からは、国宝や貴重な品々を守り伝えるために大変なご努力やご苦労があったこと、受け継ぎ伝えていくことに対する誇りや、喜びを教えてくださいました。このような人々の思いを受け止めながら、身近にあるものの本当の価値に気付く学習活動が「深く知る」ということである。

### 【コーディネーター：奈良国立博物館 学芸部長 西山 厚 氏】



文化財は、人の手で修理されることによって今日まで伝えられた。8世紀の木造建築が今も使われているのは世界でも奈良だけだ。日本は全国各地に素晴らしいものがたくさんあるが、大切に思うだけでは守れない。文化財の向こう側に、各時代の人々の修理・修復という営みがあったことを記憶していただければと思う。

## 世界遺産条約 40 周年記念ユースプログラム報告

世界遺産条約 40 周年を迎えた 2012 年、世界各地で記念する催し物が開催され、京都ではその最終会合が行われました。そのプログラムの一つであるユースプログラムについて、参加した立命館大学の豊田祐輔氏と金度源氏が報告しました。



わたしたち若者が、昔の世代からの世界遺産を守り、次の世代に引き継いでいく重要な責任を持っている。地域社会と一緒にあって、世界遺産だけではなく、その文化・歴史を含めて保存していくことが重要である。若者の率先した行動や参加を支援することを国際社会に求めたい。

## 子どもによる世界遺産学習発表会「未来へつなぎたい わたしたちのたからもの」

小・中学生が、それぞれ自分の住んでいる地域や伝統文化について発表しました。

### 【大韓民国慶州市】

韓国慶州市の影池小学校 6 年のイヒョジュンさんが、新羅千年の都、慶州市の世界遺産「慶州歴史地区」など代表的な文化財を日本語で紹介しました。続いて、慶州小学校 6 年生のキムチャンホさんが、仏国寺（ブルグクサ）を中国語で、新羅中学校 2 年のチェジョンウクさんが、良洞（ヤンドン）民俗村について英語で紹介しました。



### 【斑鳩町立斑鳩小学校】

斑鳩小学校では、4 年生からの 6 年生までの能クラブの児童男女 16 名が、演目「羅生門」「安宅」「清経」の謡と舞を披露しました。児童は、演じた後のインタビューで、6 年生まで続けている理由として、「教えて下さった先生にあこがれたから。」「斑鳩小学校でしかできないから。」と答え、斑鳩小学校や斑鳩のまちを大切に思う姿が見られました。



### 【豊中市立第十一中学校】

豊中市立第十一中学校の自然科学クラブの生徒が、島熊山で暮らす多くの動植物の命を見つめることから地球の生命について考える取組を紹介しました。その様子を美しい写真と共に、私たち人間の地球への影響は大きいこと、地球環境や生物間のつながりを、理解しようとしなければ地球は破滅することになりかねないという思いを会場に伝えました。



### 【奈良市立椿井小学校】

椿井小学校の 6 年生は、学校の近くにある世界遺産・東大寺や伝統産業である奈良うちわ、能面彫りについてフォトストーリーを作成し、それを奈良高校の E S S 部の協力で英訳し、オーストラリアの学校と交流した取組を紹介しました。一連の学習を終え、児童たちは、世界中の人たちに大好きな奈良のよさを伝えるためには、もっと奈良のことを知り、大切な伝統を受け継ぎ、次へとつないでいきたいという思いを訴えました。



## 体験！世界遺産学習～聖武天皇の字を見て書こう～



事前に申し込みをした小学生 15 名が、聖武天皇の字を見て書き、清書したものを貼り付けるうちわづくりに保護者と共に参加しました。辻倉史子先生（奈良市立登美ヶ丘小学校 教諭）の指導を受けて、子どもたちは、真剣に作品づくりに取り組みました。完成したうちわと共に写真に写る姿は、みな誇らしげでした。



- <子どもの感想> 聖武天皇の字を書くのは、とってもむずかしかったけど、とってもおもしろかったし、楽しかったです。うちわは、これから私の一生の宝ものになるのでとてもよかったです。
- <保護者の感想> 古人の書を見ていると現代とのつながりを感じました。子どもが書（字）に集中していく様子が練習するごとに深まっていくのが分かりました。このような機会に出ることができ、感謝します。

## 分科会での報告

### 第1分科会

(指導助言:奈良教育大学 教授 岩本廣美)

#### ◆“大牟田”大好き!

～子どもが進んで取り組む世界遺産学習～

(大牟田市立駛馬北小学校 教頭 武田貞弘)

世界遺産候補(宮原坑跡等)の学習を通して、地域を誇りに思う子どもを育てる学校全体での取組を発表。

#### ◆守ろう地球 大好きなら

～今 私たちに できること～

(奈良市立富雄北幼稚園 教諭 松下智加・田中由佳)

園児たちが菜の花と小麦を育て、それを活用したホットケーキづくりと廃油石鹸づくりの取組を発表。

### 第2分科会

(指導助言:奈良市立富雄北小学校 校長 上田啓二)

#### ◆見て!聞いて!調べよう!

～世界に誇れる「藤井寺」～

(藤井寺市教育委員会 指導主事 吉松崇)

学芸員による出張授業と地域ボランティアによる古墳巡りなど、教育委員会としての取組を発表。

#### ◆伝えよう!つぎのたからもの

(奈良市立鼓阪小学校 教諭 澤井規子)

鼓阪の宝物である東大寺大仏や二月堂修二会について調べ、小浜市立田鳥小学校に伝えた取組を発表。

### 第3分科会

(指導助言:奈良県教育委員会 指導主事 北浦義弘)

#### ◆あさくら 大好き 大発見!

(桜井市立朝倉小学校 教諭 上野環・杉本富美)

1年生の生活科で地域のよさを発見する取組と6年生の総合的な学習の時間で万葉歌碑から地域を知り、大切に取る取組の発表。

#### ◆奈良の食文化再発見!「麦縄」を知ろう!

(奈良市立伏見小学校 栄養教諭 山中淳代)

唐菓子を通して、無形文化遺産の食文化を食べ継いでいく大切さを育てる取組の発表。

### 第4分科会

(指導助言:奈良教育大学 教授 谷口義昭)

#### ◆地域ぐるみで伝統を受け継ぐ力に

～長浜曳山祭り～

(長浜市立長浜小学校 教諭 保積恵美)

郷土を愛し、誇りをもてる地域学習、郷土資料を使った道徳実践から、5年生の自作資料を活用した取組を発表。

#### ◆現在に残されている地名

(奈良市立朱雀小学校 教諭 山方貴順)

文化遺産である地名の由来を知ることを通して、郷土愛を育む道徳実践を発表。

### 第5分科会

(指導助言:奈良教育大学 専任講師 中澤静男)

#### ◆自らの力で地域とともに未来をつくる 石見銀山学校

(大田市立大森小学校 教諭 丸亀貴彦)

3年生以上で取り組んだ「石見銀山再発見プロジェクト」における石見銀山学校でのポスターづくり、子どもガイドの取組等の発表。

#### ◆危機遺産と奈良

(奈良市立三笠中学校 教諭 清水淳郎)

アンコールワット修復に携わった石工の左野勝司さんを通して、世界遺産に対する日本の関わり方、自分の生き方を考える取組の発表。

### 第6分科会

(指導助言:奈良市教育委員会 係長 榎原正巳)

#### ◆持続発展教育と防災教育

(気仙沼市教育委員会 課長補佐 菊田裕幸)

気仙沼市立階上中学校における防災学習と東日本大震災で明らかになった成果と課題を発表。

#### ◆伝統文化に学ぶ

(奈良市立興東中学校 教諭 吉田牧子・西田敬子)

ESD日米教員プログラムでの米国教員との交流と「大柳生の太鼓踊り」の体験を通して伝統文化に愛着をもたせる取組の発表。

### 第7分科会

(指導助言:奈良教育大学 副学長 加藤久雄)

#### ◆私たちのまちのたからもの

～国内海外小中高大協働学習、産学・地域連携～

(羽衣学園高等学校 教諭 米田謙三)

“まちのたから”のデジタル作品を作成し、地域の文化や自然を守り伝える心を育てる取組の発表。

#### ◆奈良教育大学ユネスコクラブ

十津川道普請ESD体験ボランティア

(奈良教育大学 ユネスコクラブの学生)

体験をもとにボランティア活動の価値やESDの視点から捉えた学習効果について考察したことを発表。

### 第8分科会

(案内人:奈良市教育委員会 係長 深澤吉隆)

#### ◆ようこそ!世界遺産学習へ

「ドキュメンタリー映像詩『天平萌ゆ』から

世界遺産学習へ」

東大寺の修二会を中心とした行事、また、それらをささえる様々な人々の思いを描いたドキュメンタリー映像詩『天平萌ゆ』の鑑賞から、世界遺産学習の可能性を提案。



## アンケート結果(参加者の声と満足度)

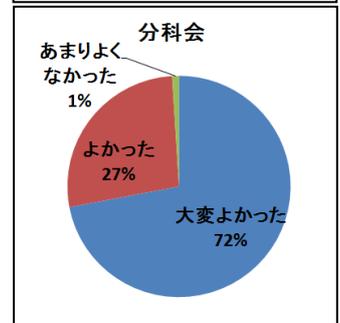
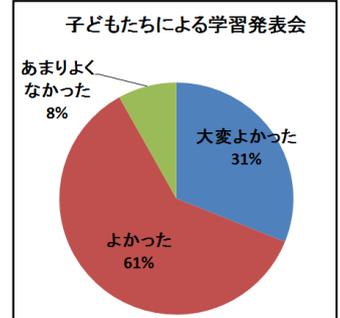
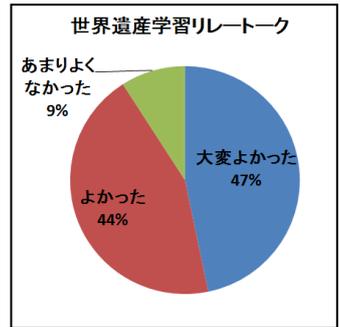
○修理・修復を通じてその手法が受け継がれたり、復元されたりして技術も人から人へ受け継がれていくものであると思う。その背後で文化財(大切なもの)を伝えたい心が受け継がれているのだと思う。 【市内教職員】

○世界遺産を守る若者を育てるためには、小さいころから地域への愛着の気持ちをもたせることが大事だと分かりました。世界遺産学習の重要性が改めて分かりました。 【市外教職員】

○子どもの発表では、全員、すばらしい成功体験ができ、よかったです。元気に、またすばらしい内容の発表、聞いて感心しました。もっともっと広げていただきたい。これが本来の教育だと感じました。 【市内NPO】

○地域の特性を捉え、活かしたプログラムを組み、生徒たちにしっかりと伝えているということは当然だが、難しい。その成功例を見聞きできたということは本当に貴重だった。伝統文化に関して若い時に触れるのと触れないのでは、持続性というものへの価値観の違いに関係してくると感じる。そのため教育において地域の伝統を組み込むことは意義があるものではないだろうか。 【県外大学生】

○2つの実践を学ばせていただけて、大変勉強になりました。お話をうかがう中で教師自身がまず世界遺産についての理解を深めること、様々なチャンスをアンテナを高くはって逃さないことが大切だと改めて感じました。また、沢山の方にご協力いただくことで、学習が深まること、時には思い切って行動に移すことの重要さも感じる事ができました。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。 【市外教職員】



## 第4回世界遺産学習連絡協議会 総会

平成21年度に、世界遺産や地域遺産などの優れた文化遺産や自然遺産を教育的に活用し、地域を大切に、誇りに思う心を養う世界遺産学習並びにESD(持続発展教育)の実践の交流と情報交換、及び研究大会の開催等の充実・推進を目的に世界遺産学習連絡協議会を設立しました。現在、22の教育委員会と4つの学校が参加しています。

平成25年1月26日(土)に開催された総会では、6教育委員会の新規加入や連絡協議会の活動についての議事が審議されました。その中で、平成25年度、平成26年度の世界遺産学習全国サミットを奈良市で開催することが承認されました。その後、連絡協議会の各会員から教育実践・教育施策の報告が行われ、最後にオブザーバーとしてご出席いただいた文部科学省国際統括官補佐の井村隆様にご助言をいただきました。



世界遺産学習連絡協議会総会

**【正会員】** 深浦町(青森)、平泉町(岩手)、気仙沼市(宮城)、多摩市(東京)、珠洲市(石川)、彦根市(滋賀) 長浜市(滋賀)、堺市(大阪)、豊中市(大阪)、藤井寺市(大阪)、姫路市(兵庫)、奈良市(奈良) 橿原市(奈良)、桜井市(奈良)、斑鳩町(奈良)、安堵町(奈良)、明日香村(奈良)、大田市(島根) 大牟田市(福岡)、屋久島町(鹿児島)、読谷村(沖縄)

**【学校会員】** 奈良教育大学(奈良)、羽衣学園高等部(大阪) 奈良県立法隆寺国際高等学校(奈良)、東大寺学園中・高等学校(奈良)

連絡協議会へのご参加をお待ちしております。

※( )は都府県名